

## その他

### 国際センター サマースクール「徳島であおう」

#### 目的

本サマースクールは、(1) 海外の大学から参加する学生が、将来本学で交換留学生や正規外国人留学生として学んでもらうこと、(2) 徳島大学での学習・研究、ならびに徳島の文化について理解してもらうこと、また (3) 日本人と他国からの参加学生がお互いに出会い知り合うことで、今後の国際化に向けた自らへの振り返りを促すことを目的として実施した。

#### 実施概要

期 間：2017 年 8 月 6 日（日）～8 月 13 日（日） ※8 月 12 日（土）に修了式を行った。

参加人数：82 名 （海外参加者：34 名、日本人学生・本学留学生・地域住民：48 名）

国	参加人数	大学
中国	15 名	大連理工大学 10 名（引率 1 名を含む）
		吉林大学 5 名
韓国	8 名	韓国海洋大学
アメリカ合衆国	1 名	ラガーディア・コミュニティ・カレッジ
ベトナム	4 名	ハノイ土木大学
インドネシア	3 名	ムルデカ大学マラン
モンゴル	3 名	モンゴル医科大学

#### 日程

1 日目：8 月 6 日（日）		
15:30-	徳島駅集合＆ホテルチェックイン	
2 日目：8 月 7 日（月）		
台風接近のためプログラム中止		
3 日目：8 月 8 日（火）		
9:00-12:00	徳島ビジネス体験（企業見学）	大塚製薬
12:30-13:30	徳島文化体験	渦の道
16:30-18:00	開講式・キャンパスツアー・日本人学生との交流	常三島キャンパス
4 日目：8 月 9 日（水）		
9:30-10:00	オリエンテーション	地域創生・国際交流会館
10:00-16:00	日本文化体験学習（邦楽、茶道）・徳島文化講義	地域創生・国際交流会館
5 日目：8 月 10 日（木）		
10:30-12:00	文化の森魅力発見！	文化の森
6 日目：8 月 11 日（金）		
9:30-11:45	徳島文化体験（藍染め体験、霊山寺見学）	藍の館、霊山寺
13:15-15:15	徳島文化体験（大塚国際美術館見学）	大塚国際美術館
7 日目：8 月 12 日（土）		
9:30-12:40	振り返り・グループ発表・修了式	地域創生・国際交流会館
13:40-20:30	阿波踊り見学	
8 日目：8 月 13 日（日）		
9:00-15:00	京都ツアー（金閣寺、清水寺、東寺）	京都



オリエンテーション



キャンパスツアー



日本文化体験学習(邦楽)



日本文化体験学習(茶道)



徳島文化講義



文化の森魅力発見！



企業見学(大塚製薬)



渦の道見学





藍染め体験



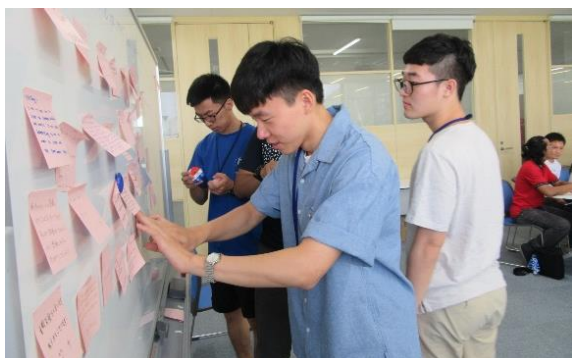
霊山寺参拝



大塚国際美術館見学



眉山見学



カード作り



京都見学



振り返り



開講式

## 地域貢献

地域連携戦略室及び地域創生センターとの協力のもと、様々な地域の国際化を図る取り組みを行っている。

### 地域貢献（多文化交流・地域共生）事業のポイント

- 異なる文化を持った人を受け入れ、共生を目指す地域社会を創造する  
～お互いの共生・協労への理解～
- 地域に住む住民としての外国人と日本人の関係を作る  
～出会いの場と共存を考える活動の提供～
- 徳島という地域で独自の共生を住民で考える  
～将来の共生の担い手に学習課題としての提示～

### 1. 事業の目的と経過

国際センターは、地域に根ざした異文化理解を進める取り組みを行っている。センターが中心となって①留学生・在住外国人②日本人学生と教職員、そして③地域、の人と人とを結ぶ様々な活動を計画・実施している。現在まさに、少子・高齢化といった社会情勢に応じて、徳島県にも外国人労働者が急激に増加する可能性がある。その際、互いに地域住民として共生・協労への理解を図る地域社会（コミュニティ）作りが重要な問題となる。この視点からセンターでは従来の学内の＜講座＞「国際交流の扉を拓く」や学外への「異文化理解出張講座」（教育機関・公民館の依頼による）を進めている。

また2015年度より美波町（徳島県海部郡、2018年度まで）と実施してきた、文化庁『生活者としての外国人』の日本語教育事業が、2017年度からはつるぎ町（徳島県美馬郡、2019年度まで）も採択され、本年からは県南部と西部を結んだ広域的な日本語教育及び交流の支援を行っている。

### 2. 地域サポーター制度

国際センターには、日本語教育を支援する徳島住民からなる「地域サポーター」と、徳島大学の日本人学生からなる「学生サポーター」の登録システムがある。センターが実施する日本語教育、①集中講習型の日本語研修コース、②外国人留学生・研究者・研究生とその家族対象の全学日本語コース、③学部留学生対象の全学共通教育での日本語・日本事情、④総合科学部の日本語教員養成に関わる科目、⑤地域対象公開講座があり、通年平均して約30クラスを開講している。各クラスの要請に応じ、地域または学生サポーターが授業に参加し、会話やスピーチ練習や動詞の変換練習など、またレベルに応じて調査相手・レポートやプレゼンテーションについてのコメント、タスクやフィールドトリップの同行などを行っている。これ以外にもサマースクールをはじめ、センターで行われる事業の支援へと活動を広げている。

### 3. 2017年度の事業から

#### ①公開講座等

今年度は昨年に続いて「多文化共生のまちづくり（『生活者としての外国人』のための日本語教育）」とし、前述の文化庁予算を活用し、春夏・秋冬に開講した。

＜春・夏講座＞ 原則火曜日 18:00-20:00 教室：地域創生・国際交流会館 302

	日	内容
1	5/9	オリエンテーション
2	5/16	コミュニケーションの諸相（言語・非言語）
3	5/23	身体的コミュニケーション
4	5/30	日本語を学ぶ・教える①（外国人はどのように日本語を学ぶのか）
5	6/6	日本語を学ぶ・教える②
6	6/13	日本語を学ぶ・教える③
7	6/20	日本語を学ぶ・教える④
8	6/27	文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育」事業に関して
9	7/4	多文化共生社会をめざして1（とくしま異文化キャラバン隊）
10	7/8	美術鑑賞教育と言語（徳島県立近代美術館にて留学生との活動）
11	7/11	多文化共生社会をめざして2（活動作りと報告会）

＜秋講座＞ 原則水曜日 18:00-20:00 教室：地域創生国際交流会館 302

	日	内容
1	10/11	オリエンテーション
2	10/18	コミュニケーションの諸相（言語・非言語）
3	10/25	身体的コミュニケーション

4	11/1	日本語を学ぶ・教える①
5	11/8	日本語を学ぶ・教える②
6	11/22	日本語を学ぶ・教える③
7	11/29	文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育」事業に関して
8	12/6	多文化共生緒まちづくりの活動
9	12/8	美術鑑賞教育と言語（徳島県立近代美術館にて留学生との活動）
10	12/13	多文化共生社会のまちづくりの活動の企画発表

<冬講座> 原則火曜日 18:00-20:00 教室：地域創生国際交流会館 302

	日	内容
1	1/16	オリエンテーション
2	1/23	日本語を学ぶ・教える① 学習者について
3	1/30	日本語を学ぶ・教える② 教材について
4	2/6	日本語を学ぶ・教える③ タスクとは
5	2/11	徳島県立文化の森にて 留学生と交流（ウィンターフェスティバル参加）
6	2/13	日本語を学ぶ・教える④ プロジェクトワークとは
7	2/20	文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育」事業に関して
8	2/27	新たな日本語教育を考え実践する「多文化共生社会をめざして」

いずれも、地域の日本語教育及び交流活動を担う人材の養成と受講者の県内でのネットワークづくりを目的としている。本学（徳島市）を美波町とつるぎ町を結ぶ拠点として位置付け、TOPIA（徳島県国際交流協会）とも協力し県内の国際化を進めることも担っている。本事業は3年間で各自治体が高材を育成し、地域内に波及させながら新たな多文化共生の地域のモデルを創ることが期待されている。

## ② 地域の学校との連携・支援

徳島地域の初等・中等教育機関との連携事業や国際理解教育・英語教育の支援を行っている。本学留学生と小・中・高校生との交流を通して、地域に住む児童・生徒にとっては多文化を学ぶことが、同時に外国人留学生は日本文化を体験的に学ぶことができている。（写真は7月福島小学校）



## ③ 高大連携事業：出張講座、SGH支援

大学の地域への開放と地域社会の向上発展に貢献するという理念に基づいた高校との連携活動の一環として、国際センターの教員が高校に出向き、国際交流や異文化理解に関する講義を行った。

月日	出張先	担当教員
5月29日	城東高校	福岡 佑子
7月10日	市立高校	Gehrtz 三隅 友子
10月24日	城ノ内高校	橋本 智
11月6日	脇町高校	Gehrtz 三隅 友子
1月12日	市立高校	金 成海

また、本学は徳島県立城東高校のスーパーグローバルハイスクール事業（SGH、文部科学省指定）を支援しており、講師派遣を行う際の窓口の役割を国際センターが担っている。国際センター教員を含む本学教員11名が「クエスト活動」と呼ばれる課題研究活動の指導を行った。

## ④ トビタテ留学！JAPAN「地域人材コース」での学生派遣

地域人材コース「徳島県地域グローバル人材育成事業」第3期生として本学学生3名が採択された。本事業は海外留学と地域企業等でのインターンシップを組み合わせたプログラムを通じて、地域活性化に貢献し、地域に定着する意欲のあるグローバル（グローバル）人材の育成を目的としている。

## 4. 成果と今後の展開

今後も常三島キャンパスを本拠地とし、学内と地域を結ぶ様々な活動を通して、新たな多文化共生を目標とし、地域の国際化及びグローバル化を実行に移す人材育成にも貢献する次第である。